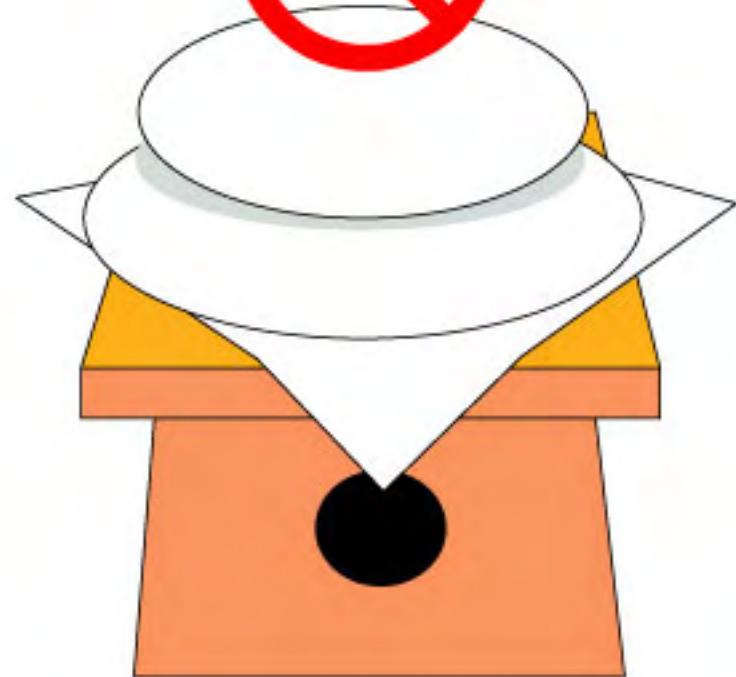


平成21年1月1日発行

月刊

田中けん

第4期 vol.03 (通巻35号)



区議会「一人の会」無所属

田中けんは、タバコ1箱1,000円を支持します。

卷頭コラム

やはり 江戸川区議会は暗黒議会だった!!

あけましておめでとうございます。

正月に新聞折込される新春特別号の区議会だよりには、区議会事務局からの指示を受け、本来一人会派である私の文章も「1行29文字で5行分」という条件で、掲載される予定でした。

そこで、私は以下のようなあいさつ文を書き上げました。

公然と行われている一人会派差別を無くし、誰もが自由に発言できる議会を作ります。

一人会派は、年一回しか一般質問ができません。予算・決算特別委員会という重要な会議には任期中一度も出席できません。

議員一人に関する事を当事者を除いた会議で決めて差別しています。

このような「暗黒議会」は、都内でも江戸川区だけです。

将来は、議員だけでなく、区民も発言できる風通しがよい議会運営を心がけます。

この文章が「新年のあいさつ文にふさわしくない」との理由で、全文削除されました。

区議会に対する具体的な批判に対して、何ら回答することなく、むしろその声を押さえ込み、何も問題が無いかのように振る舞う隠蔽体質が、江戸川区議会にあります。

私は(自民・公明・民主・共産の代表者4名で構成される)編集委員会が、私の文章を気に入らないとするならば、その部分を●●●のような伏せ字にして欲しいと伝えました。

info@t-ken.jp

R100

古紙配合率100%の再生紙を使用しています

お名前、ご住所、電話番号をご記入の上、「月刊田中けん」への感想文を送ってください。原則、実名によりご紹介しますが、希望者のみ匿名の扱いにします。ただし、誌面の都合上、短文化したり、掲載できない場合がありますので、その点はご了承ください。多数のご意見をお待ちしています。

弁護士の無料法律相談を受付中

詳しくは、03-3248-0888 (平日:9時~16時)まで

特集 江戸川区議会の現状と未来

◆卷頭コラム

やはり江戸川区議会は暗黒議会だった!!1

◆月8日間の出勤で、35万円を受け取る元区議2

◆私案・区議会改革3

◆読者からのメール4

しかし、結果は、伏せ字さえ認められずの全文削除です。

江戸川区議会の問題点は以下の通りです。

1. 江戸川区議会は、日本国憲法第13条「個人の尊重」を無視し、一人の議員を徹底して差別しています。

2. 江戸川区議会は、日本国憲法第21条第1項「表現の自由」および第2項「検閲の禁止」に違反しています。

3. 江戸川区議会は、戦前でさえ認められていた伏せ字さえも表現として認めません。

4. 江戸川区議会は、一人会派の待遇改善を求める声を、ずっと無視し続けています。

江戸川区議会の構成

自民党	17人
公明党	13人
共産党	5人
民主党	4人
生活者ネット・無所属	3人
一人の会	1人
プロジェクト江戸川	1人
計	44人

ちなみに、平成20年12月22日現在の江戸川区議会の構成は右表のようになっています。

平成20年12月22日現在

月8日間の出勤で、35万円を受け取る元区議

これは同僚の上田令子議員が、2008年11月26日(水)の一般質問で取り上げた問題です。

官民そろって、行政改革だ、リストラだなどと、経費削減に取り組んでいる現代にあって、江戸川区政には、まだまだ区民に広く知られていない事実があることをお伝えすべく、話題として取り上げました。

江戸川区では、平成20年6月に「公共調達システム検討会」なる組織を立ち上げました。組織を立ち上げるにあたって設置要綱を以下のように定めています。

第1条 江戸川区(以下「区」という。)における公正かつ品質確保に優れた公共調達の実現を図るために公共調達システム検討会(以下「検討会」という。)を設置する。

第2条 検討会は次の事項について検討する。

- (1)公正な競争と透明性を確保した公共調達のあり方
- (2)品質と価格に優れた公共調達のあり方
- (3)区内産業の育成と地域活性化について
- (4)その他

第3条 検討会は7名の委員をもって組織し、次の各号に掲げる者の中から、区長が委嘱又は任命する。

- (1)学識経験者 3名
- (2)区職員 4名
- ～以下省略～

公共調達システム検討会発足時の名簿は以下の通りです。

役職	氏名	役職
学識経験者	福島七郎	東京都都市整備局技監
学識経験者	田辺達昭	元区議会議員
学識経験者	海法幸平	弁護士
区職員	浅野潤一	経営企画部長
区職員	山崎 求	総務部長
区職員	浅川賢次	都市開発部長
区職員	土屋信行	土木部長

このメンバーの内、海法委員が9月30日付で辞任をしました。それに伴って、メンバーと要綱が一部変わりました。特に重要な変更は第3条です。

第3条 検討会は7名の委員をもって組織し、次の各号に掲げる者の中から、区長が委嘱又は任命する。

- (1)学識経験者 2名
- (2)公共調達専門委員 1名
- (3)区職員 4名

10月1日以降の公共調達システム検討会の名簿は以下の通り変更されました。

役職	氏名	役職
学識経験者	福島七郎	東京都都市整備局技監
学識経験者	人見哲為	弁護士
公共調達専門委員	田辺達昭	元区議会議員
区職員	浅野潤一	経営企画部長
区職員	山崎 求	総務部長
区職員	浅川賢次	都市開発部長
区職員	土屋信行	土木部長

ここで注目すべきは、学識経験者の枠が一人減って、公共調達専門委員の枠が一つ増えたという事実です。

これによって、区が支払う人件費は大きく増えました。学識経験者に対しては、会議一回につき、2万円(税抜き)が支払われます。

しかし、学識経験者であっても、都職員に対して、報酬は支払われません。同様に、区職員に対しても、報酬は支払われません。

平成20年9月までの段階では、検討会1回の開催につき、江戸川区は学識経験者へ計4万円を支払っていたわけです。それが10月になると、学識経験者は減り、会議一回につき支払う人件費は2万円へと減りましたが、公共調達専門委員に対して別途、報酬を支払う必要性が生じました。

この役職は非常勤職員扱いとなり、報酬は月額35万円です。

検討会自体は、月1回～2ヶ月に1回開かれます。この非常勤職員は、検討会も含め、月に8回出勤します。その報酬が月額35万円なのです。しかも、この「専門委員」なる職員は、区議会議員を10期も勤められた元区議の田辺達昭氏です。

問題をまとめます。

- 公共調達システム検討会なるものが、要綱によって作られた。(つまり条例ではないので、議会の信任を得ず、区長の独断で決めた)
- 区議会議員が、議員を辞めた後に、「天下り」とも言える行政職に就いていること。(議員が引退後に区長の独断で行政職へ登用されることが慣例化すると、現職時から、行政に対する監査が甘くなり、厳しいことが言えなくなる可能性がある)
- これまで学識経験者と区職員だけで構成されていた検討会に、なぜ公共調達専門委員なる役職が必要だったのか。(多額の報酬を支払うためだけに、非常勤職員にしたのではないのか)
- 田辺達昭氏は、検討会もなく出勤する月7回分は、何をどう働いているのか。
- なぜ議事録は非公開なのか。

教育委員・監査・選挙管理委員のように、議員OBが引退後に行政職につくこともあります。それ自体、批判の対象になることがあります、これらの役職はまだ議会の信任を得た結果として任命されるわけです。

しかし、今回の公共調達専門員とは、議会の承認を得ることなく、つまり議会に知らされることなくできた役職なのです。そこに議員OBが「就職」したのです。

この公共調達システム検討会なる組織が、誰にとって一番「おいしい」のかをご想像いただき、江戸川区と江戸川区議会に、区民の皆様のご意見をお伝えください。

江戸川区役所 webmaster@city.edogawa.tokyo.jp

江戸川区議会 03-5662-6736(直通)

田中けんの提言!!

議会改革についての考察

江戸川区議会は、色々な面で、まだまだ遅れています。
その必要性は、議会人誰もが感じていながら、その取り組みは遅々としています。
一刻も早い議会改革をすべく、田中けんは、他の一人会派の方々とも協力して、議会改革についての具体的な提案をしました。

1.すでに検討項目となっていて、 私たち一人会派も同調できる項目

議会基本条例を議員提案で制定する。

対首長権限の強化

一般質問を対面式にする。

一般質問を一問一答式にする。

質問時間を各議員同一時間とする。

質問時間制限の撤廃

一人会派への制限撤廃

議案を各常任委員会へ付託する。

常任委員会開催日の分散化

予算・決算特別委員会委員の定数増

予算・決算特別委員会の構成等改善

予算・決算特別委員会の質問時間の撤廃

一般質問発言通告締め切り日時

議場・委員会室・会派控室のIT化

議員同士の討論・議論をできるようにする。

伝達事項の合理的方法の採用

陳情審査の迅速化

議員定数

事務局の補佐機能の充実

傍聴者に資料配付する。

本会議の映像配信

委員会の映像配信

委員会記録の情報とHP掲載

すべての委員会を公開(傍聴)とする

会期中に議案や質問者及びその順番と通告内容。また、予算特別委員会や決算特別委員会の審査内容などの情報をインターネットで順次公開するなど、迅速性と公開性を高める。

区議会だよりの充実

議会を休日、夜間に開催する

議場の改善(バリアフリー化)

手話通訳の導入

請願・陳情者からの請願・陳情の趣旨説明し、委員との質疑をする。

都市視察の更なる充実

議員全体の研修機会の充実

報酬、費用弁償の検討

政務調査費

速記等の経費見直し

委員会で配布される紙資料の電子データによる配布化

委員会通知における郵送廃止とメール連絡化

年一回 3 6 5 日の通年議会

常任委員会数の削減・集約化(生活振興環境委員会を生活振興と環境に分離し、生活振興部門は、福祉健康委員会へ、環境部門は建設委員会へと統合する)

交渉会派制度の見直し

子ども議会、新成人議会、一般区民議会などの創出

インターネットを使ったバーチャル議会の創出

インターネットを使った陳情受付

秘書および常設スタッフの設置

各種会議、視察の移動中、視察中の食事における禁煙の徹底と確認

政務調査費の後払い制、および議員に現金を持たせず、事務局が直接支払う方法

議会による公営掲示板の設置(選挙の掲示板を流用)

選挙ポスターの公的一斉掲示

傍聴議員によるオブザーバー発言の保証

議長・副議長の会派離脱

議運の定数増、および一人会派の参加保証

議員視察の日数延長化

議員バッジの着用義務の廃止

2.新規に提案した検討項目

本会議室、委員会室以外で行う出張議会、出張委員会

本会議における文書質問の採用

委員会における委員の委任による他議員による代理出席

予算・決算特別委員会委員の全員参加

検討項目選択にあたっての補足説明:検討項目の中には同じ問題について複数の主張(例えば、質問時間における制限撤廃と同一時間制や、予算・決算特別委員会委員の定数増と全員参加など)が網羅されています。しかしこれは、最善案、次善案を分けることなく列挙したので、このような表現となりました。

読者からのお便り

ご意見・ご質問・苦言・提言など、お便り募集しております。

10/30早朝、篠崎駅前にて。
区内在住のご婦人から、区内にもっときめ細かく走るミニバスを出して欲しいとの要望を受けました。

年寄りにとっては、大型の路線バスよりは、狭い路地まで入ってくれるような小さいミニバスの方が、家の近くまで行ってもらえるので便利だそうです。

三鷹市へ行ったときは、1回100円でミニバスに乗りました。同様のバスサービスを是非、江戸川区にも導入して欲しいとのことでした。

長い時間話せませんが、駅前で田中けんを見つけたときは、気軽に声をおかけください。印象的な区民提言に関しては、紙面に掲載します。

E-Mail 「禁煙の徹底」に違和感を感じます。私は禁煙を考えている禁煙者です。路上喫煙の禁止や建物内の分煙施設外の喫煙の禁止には理解していますし、ある程度賛成です。しかし喫煙者を悪とする風潮や、神奈川県で話題になった度を越した禁煙条例案は理解できません。

江戸川区にもそのような意識、規制が必要とお考えなのでしょうか？そもそもタバコは合法です。

当然喫煙者にも権利があります。いずれ公的な場以外(居酒屋等)にもなんらかの禁煙の規制が必要との前提のもとの条例制定は疑問ですし断固反対です。そして他の自治体に条例があるからと言って必ずしも江戸川区にも必要なのでしょうか？

喫煙所の設置を増やし、区民個々の意識の問題だと思いますのでマナー意識向上を呼び掛けるべきです。私は禁煙します。タバコに対する行き過ぎた規制をするぐらいならそもそもタバコを非合法化する方向で思案、国に呼び掛けて欲しいくらいです。

喫煙者は優良な納税者でもあるのですから喫煙者の視点からも慎重に禁煙のあり方を考えもらいたいです。

(上篠崎 小泉裕貴さん)

E-Mail 今朝の西葛西駅で久しぶりに「けんさん」に会いました。しばらく見ないあいだにこんなことは……「けんさんニュース」を読むまで逮捕のこと、知りませんでした。ビックリ驚きました。けんさん、黙秘で頑張ってきたんですね！

おかげでエラい長い間4ヶ月も拘置所暮らしをさせられて「エライこっちゃ！」でした。本当に

あなたは偉い！

それにしても、警察の奴らほんま「権力の畜生」ですね！これは酷い！現職の議員に対してさえもこのような扱い方とは……、名もない民間人であればもっとひどい扱い方をしていることでしょう！

日本の行政はほんまひどいですね。人権問題で行政裁判をしても、結局、裁判官も警察も検事も、みんな公務員で、自分たちの身内のことはちょっと反省しない。反動の司法です。

「けん」さん、応援します！頑張ってくださいね！

(西葛西 A.Watanabeさん)

E-Mail 今朝、西葛西にて、月刊田中けん、頂きました。まずは本格的再出発に至ったこと慶賀。

少しふくらとしているのを見て何故かホッとした。大変なことは思いますが、そこは考えよう。国策捜索を受けた人間だからその活動たるや本物ですよ。

大沢在昌が「走らなあかん夜明けまで」で警察とは国体を守ることが主任務で、その合間に泥棒や人殺しを捕まえることもある、と喝破しています。

私も経験がありますが、東京

の区議員を「逃亡の恐れ」「証拠の隠滅」等の疑いで拘束することは、ずいぶん思いきったものです。警察関係者はこの場合の「逃亡」とは、普通に使う逃亡とは違うんだと言っていましたが、どう違うのか、その違う意味での逃亡の解釈で拘留が許されるのか、私には理解できません。田中さん、完黙とは知りませんでした。立派。私はもう、日本には絶望している人間ですが、それでも田中氏が区議當選したことはむしろびっくりし、ほう、見ている人もいるモンだなあと思ったものです。

政治家の資質のひとつとして、何度も繰り返し同じ発言すること、というものがあるでしょう。全く分かっていないんだなあと、諦めてしまつてはいけないということです。それを日常的に繰り返していかなければならないのですから、政治家とは実に大変なものです。

自民党の名前ばかりの高速道路対策ですが、田中さん達の言っていることと全く違うのは、いくら安くしても料金徴収費がかかる、これが圧倒的に違うという点です。料金所の運営費用ということについてです。

ますますのご活躍に期待します。
(SYOさん)

「月刊田中けん」を評価してください。

この紙面をお読みいただきありがとうございました。もし、少しでも記事が面白いと思つていただけましたら、少額の政治献金をお願いいたします。

この新聞を作るのには、1枚10円で1万部の発行により、毎

回10万円(概算)の費用がかかります。充実した政治活動のためにも、ご協力をよろしくお願いします。

みずほ銀行 小松川支店
普通 1015472
田中けんを応援する会

電話番号変更のお知らせ



03-3248-0888

(平日:9時~16時)

いただく電話の数や契約上の都合により、24時間化はしていませんが、これにより、随分、ご不便、ご迷惑をおかけすることも少なくなると思います。是非、ご活用ください。

高速道路の無料化



江戸川区
議会議員

自宅事務所

〒132-0021
E-mail

田中けん

江戸川区中央4-25-14
03-3248-0888(平日:9時~16時)
info@t-ken.jp

江戸川トライアスロン連合会長、ホームヘルパー2級、スペイン語を勉強中

プロフィール

1966年 江戸川区生/松江三中卒 墨田川高校卒 千葉大学教育学部卒
O1995年4月 江戸川区議会議員選挙 (2789票・41位)当選
O1999年4月 同選挙 (4282票・16位)当選
●2001年6月 東京都議会議員選挙 (12394票・8位)落選
O2003年4月 江戸川区議会議員選挙 (4103票・15位)当選
O2007年4月 同選挙 (3883票・25位)当選

人口過密の解消

www.t-ken.jp